ヘルプカードの使用方法

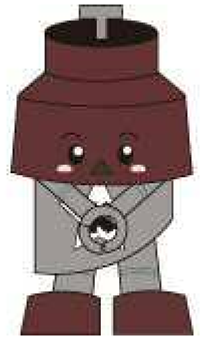
ヘルプカードは障害者手帳にも入れられる名刺サイズとなっております。携帯方法としてはヘルプカードを所持する人が一番携帯しやすく、もしもの時に確実に取り出せ、本人が使用しやすい方法を工夫してご利用ください。

≪　参考例　≫

◎ 障害者手帳などのケースに入れて一緒に携帯する。
◎ カードフォルダーに入れて首から下げて利用する。
◎ 財布の中に入れて携帯する。
◎ バッグのポケットに入れて携帯する。

ヘルプカードを使用するにあたっての注意点

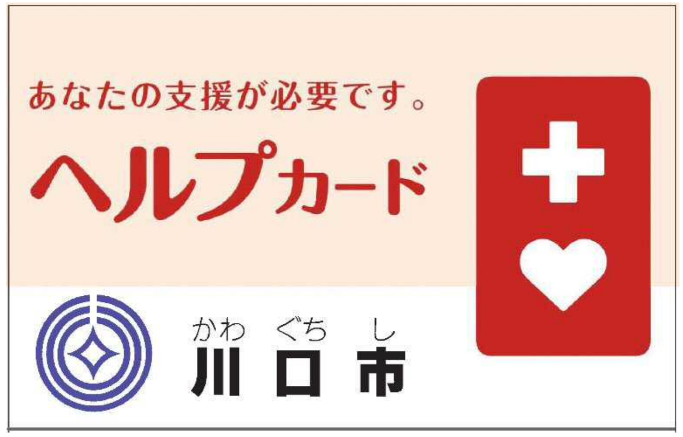
ヘルプカードは援助を必要とすることを周囲に知らせるため、あなたの個人情報を知らない人に伝えるものです。ヘルプカードの管理方法や紛失には充分に注意してください。

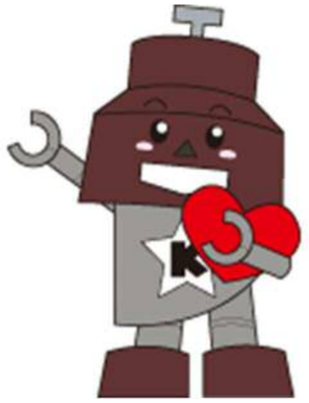


ヘルプカードについての問い合わせ

〒332－8601　川口市青木2－1－1
川口市福祉部障害福祉課
電　話：048-259-7678（直通）
ＦＡＸ：048-259-7943

ヘルプカード利用案内


あなたの支援が必要です。
ヘルプカード
川口市



川口市マスコット「きゅぽらん」

ヘルプカードとは

障害のあるかたや病気を抱えているかたの中には、自分から「困った」、「助けてほしい」など、うまく伝えられないことがあります。普段の生活の中で困ったときや、緊急時・災害時に提示することで、周囲のかたに手助けや配慮をお願いしやすくするカードです。

こんな時に役立ちます

①普段の生活で困ったとき

●日常生活の中で、ちょっと手助けがほしいときに、必要な支援や協力をお願いすることができます。

②緊急のときに自分の病気や障害をうまく説明ができない

●パニックや発作、病気のときに配慮してほしいことや、飲んでいる薬の情報を正確に伝えることができます。

③災害が発生したとき

●何が起きているのかを知りたいときや、緊急連絡先に電話をしてほしいときに、必要な支援や協力をお願いすることができます。
また、避難生活の場所では、どんな障害があるのか、どんなことに困るのかを適切に伝えることができます。

ヘルプカードの記載方法【必要な箇所を記載してください】

表面

あなたの支援が必要です。

ヘルプカード

川口市

名前　（ふりがな）かわぐち　たろう　川口　太郎

住所　川口市青木2-1-1

電話（ＦＡＸ）　048-259-7678

性別　[✓ 男]・女

血液型　（ Ａ ）型　Ｒｈ [✓ ＋]・－

生年月日　平成 ○年 ○月○○日

名前・住所・電話・性別・血液型・生年月日

ヘルプカードを使用する本人のことを記入してください。

《緊急連絡先》

第１連絡先　名前　川口　次郎

続柄　父　電話　090-1234-5678

第２連絡先　名前　川口　三郎

続柄　弟　電話　048-890-1234

災害時の家族の避難場所

川口市役所

緊急連絡先

連絡してほしい人を記入してください。また、本人と関係がある人を記入すると手助けする人にとっても安心です。連絡先は必ず相手の了承を得てから記入してください。

避難場所は家族が避難する場所を記入してください。

あなたの支援が必要です！！

カードを開いてみてください！

川口市福祉部障害福祉課

電話：048-259-7678　直通

FAX：048-259-7943

川口市マスコット
「きゅぽらん」

裏面

《医療情報》

障害名･病名　○○障害

かかりつけ病院　川口市立医療センター

電話　０４８－２８７－２５２５

飲んでいる薬

医療情報/障害名または病名・かかりつけ病院・電話・飲んでいる薬

わかりやすく記入してください。通院中の病院がある場合は記入してください。また、日ごろ飲んでいる薬も記入してください。

《私自身のこと》

□人工透析をしています

□ペースメーカーを使用しています

□コミュニケーションが苦手です

□アレルギーがあります　内容（

□パニックになることがあります

□（例：補聴器をつけています　）

《配慮してほしいこと》

□筆談で伝えてください

□手話通訳が必要です

□移動の際、介助してください

□書いてある情報を音読してください

□何が起きているのか教えてください

□簡単な言葉でゆっくり説明してください

あてはまるものに☑してください。

□その他、配慮してほしいことがあります

上記にないことでその他、配慮してほしい内容を記入してください。

私自身のこと配慮してほしいこと

ヘルプカードを使用する本人の情報や配慮してほしいことの当てはまるものに☑してください。

□アレルギーには、詳しい内容を記入してください。

□その他、手助けしてほしいことや配慮してほしいことなどを詳しく内容を記入してください。